

第2回唐津市タクシー特定地域協議会 議事概要

平成22年2月15日(水) 14:00~15:30

唐津市役所 議会棟1階 第1委員会室

1. 開 会

〔事務局〕

- ・資料確認
- ・出席者紹介(出席者名簿及び配席図により紹介に代える)

2. 会長挨拶

- ・本日は第2回の唐津市タクシー特定地域協議会を開催しましたところ、委員の皆様にはお忙しい中にお集まり頂きありがとうございます。
- ・昨年、12月18日の第1回の特定地域協議会から早2ヶ月が経とうとしております。この間、全国142の特定地域において、順次地域計画の協議が行われており、特に東京都特別区・武三交通圏特定地域協議会においては、昨年末に地域計画を承認し、1月末からは各事業者からの特定事業計画の認定申請が実施されており、タクシー特措法による取組が全国的に動いてきている状況でございます。
- ・第1回会議においてもご説明させていただきましたが、タクシー事業におきましては、自家用自動車の普及や景気後退による需要の減少により厳しい現状が発生しておりますが、地域の公共交通として無くてはならない事業であり、特措法に基づく適正化・活性化の取組により、将来性のある事業にしていくことが重要と考えています。
- ・本日は特措法における唐津市の地域計画についてご審議頂くように計画をしておりますので、各委員様の忌憚のないご意見等を頂き唐津市のタクシー事業の適正化・活性化の推進が図られるようによろしくお願い致します。

3. 議 事

〔設置要綱第5条第2項により、会長が議事進行を行う。〕

(1) 資料2：特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法の地域計画

〔事務局〕資料説明

- ・議事(1)の「唐津市タクシー特定地域協議会地域計画(案)」に先立ち、資料2「特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法」の地域計画にかかる規定概要について説明

【出席者】意見なし

(2) 資料1：唐津市タクシー特定地域協議会地域計画（案）

【会 長】

- ・地域計画（案）は、タクシー事業の適正化・活性化に関する基本的な方針、地域計画の目標、地域計画の目標を達成するために行う特定事業その他の事業及びその実施主体に関する事項、の三本の柱で構成されており、各項目に分けて審議いただきたい。

タクシー事業の適正化・活性化に関する基本的な方針

〔事務局〕資料説明

【会 長】

- ・基本的な方針は、唐津市におけるタクシーの役割と現状、タクシー事業が抱えている様々な問題を踏まえた上で、今後における取組の方向性の基本的な考え方が示されている。この内容について、ご意見等を伺いたい。

【出席者】意見なし

地域計画の目標

〔事務局〕資料説明

【会 長】

- ・6ページに地域計画の目標の設定における基本的な考え方が示されている。
- ・この基本的な考え方を基に、唐津市の協議会における取り組みが必要と思われる事項について検討を加えて頂くこととなる。また、需要が減少していることから供給過剰状態を解消していく取組についても検討をして頂くこととなる。
- ・提示した取り組み以外にも追加すべき事項等があれば、ご意見いただきたい。

【唐津市：小林氏】

- ・来年度から唐津市の公共交通の活性化でタクシー以外のバスや離島航路を含めた活性化計画を作っていく予定であり、またタクシーについても活性化について検討しているところである。資料に代行運転の問題についても記載があるが、タクシーに与える影響や解決策など現状はどのようになっているのか。

【事務局】

- ・代行運転は法律に定められた事業であり適正に行われれば問題ないが、代行運転事業者が所持している車両にお客さんを乗せて運んでいる、いわゆる白タク行為という実態が見受けられる。このような行為について、きちんと指導して欲しいという思いである。

【会 長】

- ・ 概略的な数字だが、ほとんどの地域でタクシー車両と同程度の代行業の車両がある。タクシー事業とは違って、代行業は保険に加入すれば事業できるというふうに比較的簡単に事業をできるものであるが、先ほどもお話があったように、事業が適正に行われていれば問題ないが、代行車をタクシー代わりに使用している実態が散見されるので、適切な手立てが必要になると考えている。

【唐津商工会議所：関氏】

- ・ 少子高齢化により今後高齢者が益々増えていくことと思うが、現在もみじマークをつけて走っている高齢者を相当数見つけるが、そのような方に運転の自粛をお願いできないものか。もし、できるのであれば、それがタクシーの利用者増に繋がるのではないか。
- ・ 以前トライアル前にタクシーの待機場所があったが、現在なくなっている。しかし、その近隣には病院やボーリング場があり高齢者や運転できない若者が頻繁に往来している。したがって、そのような場所には乗り場が必要ではないかと個人的には思っている。やはり人が集まるような場所にはタクシー乗り場が必要なのではないか。

【会 長】

- ・ 乗り場については、各地区のタクシー団体と協議してもらいたい。
- ・ 高齢者の運転免許返納について警察の方にお伺いしたい。

【佐賀県警：田端氏】

- ・ 免許証返納には年齢制限はなく、運転機能が衰えたと自覚のある方などが自主的に返納するものである。

【会 長】

- ・ 田舎では車がないと不便であり、タクシーは高いというイメージもあって、なかなか免許証を手放せないという状況がある。
- ・ 高齢者の関係する交通事故が多いので、身内もしくは周りの人間から高齢者に働きかけることによって運転免許証を返納していく仕組み作りが必要なのではないか。
- ・ そうすることで代替的な交通機関が必要となってくるところであり、そこにタクシー利用をどのように繋げていくか検討が必要になってくるのではないか。

【唐津市：小林氏】

- ・ 相乗りでタクシーを利用している地域もしくは実態を把握していれば教えて欲しい。

【会 長】

- ・ 特に実態は把握していない。

【唐津市：小林氏】

- ・ タクシー事業者の方で相乗りしている地域を把握していたら教えて欲しい。

【昭和タクシー労働組合：増本氏】

- ・ 現場で働いているが、相乗りという形態はほとんどない。

【唐津市：小林氏】

- ・ 唐津市では補填や助成等を行っているが、タクシーはドア・ツー・ドアで輸送してくれる便利のいいものなので今後の計画に盛り込んでいこうと考えているところである。

【佐賀県：江島氏】

- ・ 国政調査によれば、公共交通機関の利用は30年前と比較すると、タクシーの利用は5分の1へ、乗合バスは8分の1へ減少している一方で、自家用車の利用が6倍に増えている。そういう状況の下では、公共交通機関のサービスには今後付加価値が必要になってくるのではないか。
- ・ これから高齢化社会が進んでいき年金生活者も増えていくなかで、経済的負担をできるだけ抑えたいという面がある。そういう観点からすると、先ほど話のあった相乗りをうまく仕組めるような状況を創れないものか。
- ・ 子育て世代は子どもの送迎に苦労している。共働き世帯は迎えに行くことが困難である。そういう状況の中で、子どもの送迎をしてくれるタクシーがあればありがたい。長崎県では子育てタクシーというものが構築されている。このように潜在的な利用者の掘り起こしに取り組んでみてはいかがか。

【会 長】

- ・ 需要が目減りしていく状況の中で、如何にして需要を掘り起こしていくのかが重要になってくる。

【唐津商工会議所：関氏】

- ・ 7ページの「関係自治体や観光協会等が実施する」とあるが、観光協会や唐津市では色々なイベントが開催されるが、その際には常にタクシーが待機している状態にしてほしい。

地域計画の目標を達成するために行う特定事業その他の事業及びその実施主体に関する事項

〔事務局〕資料説明

なお、資料11ページ、利用者サービスの改善等によるタクシーの需要喚起（タクシーサービスの活性化）【特定事業】に関し、既に実施中の次の項目を追加したい旨説明。

〔追加事項（3件）〕

- 1．禁煙タクシーの徹底
- 2．タクシー便利屋サービスの推進

3. タクシー運転代行サービスの推進

【会 長】

- ・ この「特定事業その他の事業及び実施主体に関する事項」は「地域計画の目標」を達成するための「特定事業」や「その他の事業」を項目別に分類し、その具体的な取り組み方法、実施主体、取り組み時期等の内容を明示したものである。
- ・ 「特定事業」は、それぞれのタクシー事業者が実施主体となり実施するものであり、実施できる事業を抽出して「特定事業計画」を策定し、国土交通大臣の認定を受けて、特定事業計画の推進に当たるものである。
- ・ これら地域計画及び特定事業を進めるにあたっては、関係行政機関である自治体や関係団体のご協力とご支援が必要となる場合があるので、その際にはご支援ご協力をお願いしたい。
- ・ ご意見等があれば伺いたい。

【唐津市：小林氏】

- ・ 資料12ページに「その他の事業」として、「タクシー乗り場・タクシープール等の整備」とあるが、既に行政機関の方には話をしているものなのか。

【会長】

- ・ 現段階ではまだ案であり、今後取組をしていく場合に「その他の事業」として取り組んでいくこととなる。

【唐津市：小林氏】

- ・ 今後の予定として、この事業に取り組む予定はあるのか。

【片江委員】

- ・ タクシー乗り場については、今後必要に応じてお客様の利便性を考えながら設置を検討していきたい。ただ、安全性や交通問題など様々な問題があるので、このような機会を通じてアドバイスを頂けたら幸いである。

【会 長】

- ・ 今のところ具体的な事案はないが、今後適正化活性化を進めていく上で必要な場所があれば、その事案ごとに関係機関へ相談していく流れになる。

【唐津商工会議所：関氏】

- ・ 可能であれば唐津城あたりにも乗り場を設置してほしい。
- ・ 乗り場においては、1社だけが並ぶ形でなく、利用者にも好みがある関係上、各社が並ぶようにルール整備に取り組んで欲しい。

【唐津観光タクシー：福嶋氏】

- ・ ある乗り場では、昭和タクシーや唐津観光タクシー、唐津タクシーが1台ずつ3台乗り入れて

いる。唐津駅の裏は各社入れる形になっているし、唐津駅表側は唐津観光タクシーと昭和タクシーが乗り入れしている。

【会 長】

- ・これ以外に発言はないか。

【出席者】

- ・異議なし

【会 長】

- ・今回示された地域計画については案であり、第3回の会議で決定することとなる。この地域計画をもとに、個々の事業者が特定事業計画に取り組んでいくこととなる。
- ・本日の議論を踏まえて地域計画の練り直しを事務局にお願いしたい。

(3) その他(今後のスケジュール等)

〔事務局〕

- ・次回の第3回協議会において、地域計画(案)の承認をいただきたい。
- ・地域計画(案)については、事前送付させていただくので、ご意見を伺いたい。
- ・次回は、第1回協議会と同様、佐賀市協議会と合同で3月18日(木)佐賀市において開催したい。

【片江委員挨拶】

- ・ 様々のご意見等を賜り、有り難うございました。
- ・ 事務局から基本的な方針や目標について説明させていただいた。唐津市内9事業者はそれに基づき各社検討討議している状況である。公共交通機関としての事業を全うするため、また現状を打破するため、タクシーの活性化に向けて取り組んでいきたい。
- ・ タクシー事業として、24時間いつでもどこでも安全性を重視しながら、ドア・ツー・ドアというタクシーの利便性を基本にお客様のニーズに応えていきたい。
- ・ 特定地域の指定を受けた一番の原因は景気問題であると考えている。同時に、代行運転業者などタクシー以外の交通機関が大幅に増えたことも影響が大きいと考えている。第1回の協議会の中でタクシーの供給過剰が示され、それに向けて各社討議しているところであるが、逆にタクシーの台数が減少すると代行運転の車が増えるのではないかと危惧している。
- ・ 代行運転は適法な運行なら問題ないが、料金設定が自由にできるということもあり、また安いので、白タク化することが危惧される。警察当局の方に、指導の徹底をお願いしたい。
- ・ 佐賀県内においては武雄警察署管内において、運転免許返納者の割引を行っているが、これについても今後検討していきたい。
- ・ タクシー乗り場については、お客様にとって利用価値のある乗り場を作っていきたい。必要な場合は、関係機関にお願いに行くのでご協力をお願いしたい。
- ・ 児童の送迎については、佐賀市において教育長に相談したこともあるが、「誰がどのタクシーに乗ってもいいような運賃もしくは体制が必要となるのでは」とのアドバイスを受けた。

- ・ タクシー事業は貸切契約という形態であるが、「乗合」という形態が必要であれば、今後許可を申請することも検討していき、様々な運送形態に対応できるようにしていきたい。

4 . 閉会 (1 5 時 3 0 分)

【配付資料】

議事次第

配席図

出席者名簿

資料1 唐津市タクシー特定地域協議会地域計画（案）

資料2 「特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法」
地域計画

参 考 ・唐津市タクシー特定地域協議会設置要綱（制定：平成21年12月18日）

・第1回佐賀市・唐津市タクシー特定地域協議会議事概要